

法科大学院点検・評価報告書（様式例）

平成〇〇年〇月

〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻

以下の大項目も、同様に作成してください。

2 教育内容・方法・成果 (1) 教育課程・教育内容

[現状の説明]

- 2-1 学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針の明文化並びに学生への周知
- 2-2 教育課程の編成・実施方針に基づく適切な教育課程の編成
- 2-3 法令が定める科目の開設状況及びその内容の適切性
- 2-4 学生の履修が過度に偏らないための科目配置への配慮
- 2-5 授業科目の適切な分類及び系統的・段階的な配置
- 2-6 授業内容の過度な司法試験受験対策への偏重
- 2-7 法理論教育及び法実務教育の架橋を図るための工夫
- 2-8 法曹倫理に関する科目、民事訴訟実務及び刑事訴訟実務に関する科目の必修科目としての開設
- 2-9 法情報調査及び法文書作成を扱う科目又はこれら内容を含む科目の開設
- 2-10 法曹としての実務的な技能及び責任感を修得・涵養するための実習科目の開設
- 2-11 臨床実務教育の内容の適切性及びその指導における明確な責任体制
- 2-12 リーガル・クリニックやエクスターンシップの実施に関する守秘義務への対応及び学生に対する適切な指導
- 2-13 各授業科目の単位数の適切な設定
- 2-14 1年間の授業期間の適切な設定
- 2-15 授業科目の実施期間の単位
- 2-16 課程修了の要件の適切性及び履修上の負担への配慮
- 2-17 履修科目登録の適切な上限設定

2-18 他の大学院又は入学前において修得した単位等の認定方法の適切性

2-19 在学期間の短縮の適切性

2-20 法学既修者の課程修了の要件

[点検・評価（長所と問題点）]

[将来への取り組み・まとめ]

2 教育内容・方法・成果（2）教育方法

[現状の説明]

2-21 履修指導の体制の整備及びその効果的な実施

2-22 教員による学習相談体制の整備及び効果的な学習支援

2-23 アカデミック・アドバイザーやティーチング・アシスタント等による相談体制の整備及び学習支援の適切な実施

2-24 正課外の学習支援の過度な司法試験受験対策への偏重

2-25 授業計画等の明示

2-26 シラバスに従った適切な授業の実施

2-27 法曹養成のための実践的な教育方法の適切な実施

2-28 授業方法の過度な司法試験受験対策への偏重

2-29 少人数教育の実施状況

2-30 各法律基本科目における学生数の適切な設定

2-31 個別的指導が必要な授業科目における学生数の適切な設定

2-32 成績評価、単位認定及び課程修了認定の基準並びに方法の明示

2-33 成績評価、単位認定及び課程修了認定の客観的かつ厳格な実施

2-34 再試験の基準及び方法の明示とその客観的かつ厳格な実施

2-35 追試験等の措置及びその客観的な基準に基づく追試験などの実施

2-36 進級を制限する措置

2-37 進級制限の代替措置の適切性

2-38 FD体制の整備及びその実施

2-39 学生による授業評価

2-40 FD活動の有効性

[点検・評価（長所と問題点）]

[将来への取り組み・まとめ]

2 教育内容・方法・成果（3）成果

[現状の説明]

2-41 教育成果を測定する仕組みの整備及びその有効性

2-42 司法試験の合格状況等の適切な把握・分析に基づく教育成果の検証

[点検・評価（長所と問題点）]

[将来への取り組み・まとめ]

3 教員組織

[現状の説明]

- 3-1 専任教員数に関する法令上の基準
- 3-2 法令上必要とされる専任教員数における教授の数（専任教員数の半数以上）
- 3-3 教員の専門分野に関する高度な指導能力の具備
- 3-4 法令上必要とされる専任教員数における実務家教員の数（5年以上の法曹としての実務経験を有し、かつ高度の実務能力を有する教員を中心におおむね2割以上の割合）
- 3-5 法律基本科目の各科目への専任教員の適切な配置
- 3-6 法律基本科目、基礎法学・隣接科目及び展開・先端科目への専任教員の適切な配置
- 3-7 主要な法律実務基礎科目の実務家教員の配置
- 3-8 専任教員の年齢構成
- 3-9 専任教員の男女構成比率の配慮
- 3-10 専任教員の後継者の養成又は補充等に対する適切な配慮
- 3-11 教員の募集・任免・昇格の基準、手続に関する規程の整備及びその適切な運用
- 3-12 専任教員の教育・研究活動、組織内運営等への貢献及び社会貢献を適切に評価する仕組みの整備

[点検・評価（長所と問題点）]

[将来への取り組み・まとめ]

4 学生の受け入れ

[現状の説明]

- 4-1 学生の受け入れ方針の設定及びその公表
- 4-2 選抜方法及び選抜手続の適切な設定並びにその公表
- 4-3 学生の適確かつ客観的な受け入れ
- 4-4 志願者が入学者選抜を受ける公正な機会の確保
- 4-5 適性試験の結果に基づいた入学者の適性の適確かつ客観的な評価
- 4-6 法学既修者の認定基準・方法及びその公表
- 4-7 各々の選抜方法の適切な位置づけ及びそれらの関係
- 4-8 公平な入学者選抜
- 4-9 入学者選抜における競争性の確保
- 4-10 多様な知識・経験を有する者を入学させるための配慮
- 4-11 法学以外の課程履修者又は実務等経験者の割合並びにそれらの割合が2割に満たない場合の入学者選抜の実施状況の公表
- 4-12 障がいのある者への適正な配慮
- 4-13 入学定員に対する入学者数及び学生収容定員に対する在籍学生数の管理
- 4-14 学生収容定員に対する在籍学生数の超過や不足への対応
- 4-15 責任ある実施体制の下での適切かつ公正な入学者選抜の実施

[点検・評価（長所と問題点）]

[将来への取り組み・まとめ]

5 学生支援

[現状の説明]

5-1 心身の健康を保持・増進するための相談・支援体制の整備及び効果的な支援の実施

5-2 各種ハラスメントに関する規程と相談体制の整備及び学生への周知

5-3 奨学金などの経済的支援に関する相談・支援体制の整備

5-4 障がいのある者を受け入れるための支援体制の整備

5-5 休学者・退学者の状況把握及び適切な指導等

5-6 進路に関する相談・支援体制及び把握体制の整備

[点検・評価（長所と問題点）]

[将来への取り組み・まとめ]

6 教育研究等環境

[現状の説明]

- 6-1 講義室、演習室その他の施設・設備の整備
- 6-2 学生が自主的に学習できるスペースの整備及びその利用時間の確保
- 6-3 障がいのある者のための施設・設備の整備
- 6-4 情報インフラストラクチャーの整備
- 6-5 教育研究に資する人的支援体制の適切な整備
- 6-6 図書館における図書・電子媒体を含む各種資料の計画的・体系的な整備
- 6-7 図書館の開館時間
- 6-8 国内外の法科大学院等との学術情報・資料の相互利用のための条件整備
- 6-9 専任教員の授業担当時間の適切性
- 6-10 各専任教員に対する個別研究室の用意
- 6-11 教員の研究活動に必要な機会の保障
- 6-12 専任教員への個人研究費の適切な配分

[点検・評価（長所と問題点）]

[将来への取り組み・まとめ]

7 管理運営

[現状の説明]

- 7-1 管理運営のための固有の組織体制の整備
- 7-2 管理運営に関する規程等の整備及びその運用
- 7-3 法科大学院固有の管理運営を行う専任教員組織の長の任免等の適切性
- 7-4 法科大学院と関係する学部・研究科等との連携・役割分担
- 7-5 教育研究活動の環境整備のための財政基盤と資金の確保
- 7-6 事務組織の整備及び職員配置
- 7-7 事務組織と教学組織との有機的な連携
- 7-8 事務組織の企画・立案機能
- 7-9 職員に求められる能力の継続的な啓発・向上のための取り組み

[点検・評価（長所と問題点）]

[将来への取り組み・まとめ]

8 点検・評価、情報公開

[現状の説明]

- 8-1 自己点検・評価のための組織体制の整備及び自己点検・評価の実施
- 8-2 自己点検・評価や認証評価の結果を改善・向上に結び付けるための仕組みの整備
- 8-3 認証評価機関等からの指摘事項への対応
- 8-4 組織運営と諸活動の状況に関する情報公開
- 8-5 学内外からの要請による情報公開のための規程と体制の整備
- 8-6 自己点検・評価の結果の公表
- 8-7 認証評価結果の公表

[点検・評価（長所と問題点）]

[将来への取り組み・まとめ]

9 特色ある取り組み

[現状の説明]

9-1 特色ある教育研究活動の実施

[点検・評価（長所と問題点）]

[将来への取り組み・まとめ]

